

第2回幼児体験学習を行いました



10月25日、今年度第2回目の幼児体験学習を実施しました。外部からの参加幼児は9名でした。今回の合同保育は、乳幼児さんの参加が多く、年齢の幅が広いため、いろいろな活動を取り入れ皆が楽しめるように工夫してみました。

まず、「大きなたいこドーン、小さなたいこトントン」の歌に合わせて、体を動かしました。親子で跳んだりはねたり、みんなで手をつないで大きな輪や小さな輪を作ったりの音遊びです。大きい子は、大太鼓や小太鼓を歌に合わせて叩いたりもしました。

その後は、親子でのふれあい遊び「キュウリができた」です。キュウリに見立てられた子ども達は塩を振られたり、切られたり、くすぐったくて面白かったようです。親子で交代してやってみたのも楽しかったです。

「さんびきの子ぶた」の絵本の読み聞かせの後には、わらやレンガの家の模型で、人形を動かして再現遊びを楽しみました。大きい子は、前に出て即興劇もしてみました。「おおかみさん」の鬼ごっこも最後にして汗もかきました。

短い時間でしたが、聾学校での活動をいろいろと体験していただくことができたように思います。

学校公開について

11月9日（土）に第2回学校公開を開催しました。外部から19名の方々の参加がありました。午前中の幼稚部・小学部のマラソン大会では、ゴールを目指して一生懸命に走る幼児児童を応援いただきありがとうございました。聴覚障がいの理解に関するミニ講座では、難聴体験や簡単な手話や指文字の体験を通して、14名の高校生や大学生に学んでいただきました。

【お知らせ】

第3回学校公開を1月18日（土）に開催し、午後から2025東京デフリンピック開催の周知を含めたイベント「デフ陸上教室」を開催します。2020東京オリンピック陸上男子400m障害に出場された安部選手、2021ブラジルデフリンピック100m金メダリストの佐々木選手、2025東京デフリンピック陸上日本代表候補選手の中西選手や川口選手を招き、小学生から高校生ままでを対象とした体験型イベントを開催します。デフリンピックや陸上競技に興味のある小中高生も参加可能です。詳細につきましては、本校ホームページをご覧ください。

第2回「愛媛難聴児を共に育む会」開催報告

令和6年度第2回「愛媛難聴児を共に育む会」を10月26日(土)にオンラインで開催しました。県内の学校や関係機関から、20名の方の参加がありました。

はじめに、愛媛大学教育学部教授の加藤哲則氏より、「学校・園での難聴児への支援を考える」というテーマで講話がありました。子どもへの支援を考えるときには、聞こえの問題だけに焦点を当てるのではなく、「聞こえ以外の部分」や「これから困るであろうこと」、「成長した時にも継続できる支援であるのか」などの視点でも考えていく必要があるとのことでした。また、大人の立場ではなく子どもの立場で支援を考えるために、子どもとしっかりとコミュニケーションをとることの重要性についても話されていました。

その後は、3つのグループに分かれ、各学校・園での指導や支援について、日頃抱えている悩み等の情報交換を行いました。幼稚園・保育園グループでは子どもとの基本的な関わり方などの話題、小学校のグループでは音楽を中心として教科の学習についての話題、中学校・高等学校のグループでは大学進学に向けた話題で具体的な事例も交えながら情報を交換し合い、参加者にとって有意義な時間となりました。

最後には、グループごとの情報交換で挙げた話題について改めて全体で共有しました。総括をいただいた加藤哲則教授からは、「どの学校や園の先生方も、悩みを一人で抱え込まずに意見や情報を交換しながらみんなで助け合ってください。」とお話をいただきました。

今年度最後の会となりましたが、来年度も引き続き「愛媛難聴児を共に育む会」を開催し、県内の園や学校に在籍する難聴児の支援が充実していくように努めてまいります。参加された皆様ありがとうございました。



パトカー警光灯 光り方工夫へ!



緊急走行と通常のパトロールの区別ができる警光灯が搭載されたパトカーの運用が始まりました。「全日本ろうあ連盟」が2012年ごろから導入を要望していて、昨年3月から6月の期間、埼玉県警に試験導入されていました。「多方向や明暗でも見えやすいか。」「バックミラーから見ても分かるか。」などを確認して評価が得られたそうです。同連盟は、「聞こえない人や聞こえにくい人が判別できることは共生社会の実現に向けて第一歩を踏み出すもので、これを機に視覚的情報を取得できる社会に広げてほしい。」としています。

警察庁は、今年度内に新たな警光灯を搭載した小型パトカー1420台と、事故処理車99台を全国に配備し、将来的には全国で約1万台ある全国のパトカーと事故処理車への導入を目指しているそうです。パトカーに注目してみましょう。

